



仮想ボリュームAPIメソッド Element Software

NetApp
November 12, 2025

目次

仮想ボリュームAPIメソッド	1
ストレージコンテナの作成	1
パラメータ	1
戻り値	1
リクエスト例	2
応答例	2
バージョン以降の新機能	2
ストレージコンテナの削除	2
パラメータ	2
戻り値	3
リクエスト例	3
応答例	3
バージョン以降の新機能	3
ストレージコンテナ効率の取得	3
パラメータ	4
戻り値	4
リクエスト例	4
応答例	5
バージョン以降の新機能	5
仮想ボリュームカウントの取得	5
パラメータ	5
戻り値	5
リクエスト例	6
応答例	6
バージョン以降の新機能	6
プロトコルエンドポイントのリスト	6
パラメータ	6
戻り値	7
リクエスト例	7
応答例	7
バージョン以降の新機能	8
ストレージコンテナのリスト	9
パラメータ	9
戻り値	9
リクエスト例	9
応答例	9
バージョン以降の新機能	10
仮想ボリュームバインディングのリスト	10
パラメータ	10

戻り値	11
リクエスト例	11
応答例	11
バージョン以降の新機能	12
仮想ボリュームホストの一覧	12
パラメータ	12
戻り値	12
リクエスト例	12
応答例	13
バージョン以降の新機能	13
仮想ボリュームの一覧	13
パラメータ	13
戻り値	14
リクエスト例	15
応答例	15
バージョン以降の新機能	16
仮想ボリュームタスクの一覧	17
パラメータ	17
戻り値	17
リクエスト例	17
応答例	17
バージョン以降の新機能	18
ストレージコンテナの変更	18
パラメータ	18
戻り値	19
リクエスト例	19
応答例	19
バージョン以降の新機能	20

仮想ボリュームAPIメソッド

ストレージコンテナの作成

使用することができます `CreateStorageContainer` 仮想ボリューム (VVol) ストレージ コンテナを作成する方法。ストレージ コンテナは、レポート作成やリソースの割り当てに使用できます。仮想ボリューム機能を使用するには、少なくとも 1 つのストレージ コンテナを作成する必要があります。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
名前	ストレージ コンテナの名前。 Element ソフトウェアのアカウント命名制限に従います。	string	なし	はい
accountID	ストレージ コンテナになる非ストレージ コンテナ アカウント。	integer	なし	いいえ
イニシエーターシークレット	イニシエーターの CHAP 認証のシークレット。	string	なし	いいえ
ターゲットシークレット	ターゲットの CHAP 認証のシークレット。	string	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
ストレージコンテナ	新しく作成されたストレージ コンテナに関する情報を含むオブジェクト。	ストレージコンテナ

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例ようになります。

```
{
  "method": "CreateStorageContainer",
  "params": {
    "name" : "example"
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "storageContainer": {
      "accountID": 8,
      "initiatorSecret": "rVTOi25^H.d;cP}l",
      "name": "example",
      "protocolEndpointType": "SCSI",
      "status": "active",
      "storageContainerID": "a9ec1138-e386-4a44-90d7-b9acbbc05176",
      "targetSecret": "6?AEIxWpvo6,!boM"
    }
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

ストレージコンテナの削除

使用することができます `DeleteStorageContainers` システムから一度に最大 2000 個の仮想ボリューム (VVol) ストレージ コンテナを削除する方法。削除するストレージ コンテナには VVol が含まれていてはなりません。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
ストレージコンテナID	削除するストレージコンテナの ID のリスト。リストには最大 2000 個の ID を指定できます。	UUID配列	なし	はい

戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "DeleteStorageContainers",
  "params": {
    "storageContainerIDs" : ["a9ec1138-e386-4a44-90d7-b9acbbc05176"]
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

ストレージコンテナ効率の取得

使用することができます `GetStorageContainerEfficiency` 仮想ボリューム ストレージ コンテナに関する効率情報を取得する方法。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
ストレージコンテナID	効率情報を取得するストレージ コンテナの ID。	integer	なし	はい

戻り値

このメソッドには次の戻り値があります。

Name	説明	タイプ
圧縮	ストレージ コンテナ内のすべての仮想ボリュームのデータ圧縮によって節約されるスペースの量。比率として表され、値 1 はデータが圧縮されずに保存されていることを意味します。	float
重複排除	ストレージ コンテナ内のすべての仮想ボリュームのデータを複製しないことで節約されるスペースの量。比率で表します。	float
不足しているボリューム	効率データのクエリができなかった仮想ボリューム。ボリュームの欠落は、ガベージ コレクション (GC) サイクルが 1 時間未満であること、ネットワーク接続が一時的に失われていること、または GC サイクル以降にサービスが再起動されたことが原因で発生することがあります。	整数配列
シンプロビジョニング	データの保存に割り当てられたスペースの量に対する使用済みスペースの比率。比率で表します。	float
タイムスタンプ	GC 後に効率データが最後に収集されたとき。	ISO 8601データ文字列

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "GetStorageContainerEfficiency",
  "params": {
    "storageContainerID" : "6c95e24f-9f0b-4793-affb-5a4bc6c3d7e1"
  },
  "id" : 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "compression": 1,
    "deduplication": 1,
    "missingVolumes": [],
    "thinProvisioning": 1,
    "timestamp": "2016-04-12T15:39:49Z"
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

仮想ボリュームカウントの取得

使用することができます `GetVirtualVolumeCount` 現在システム内にある仮想ボリュームの数を取得する方法。

パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
count	現在システム内にある仮想ボリュームの数。	integer

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例ようになります。

```
{
  "method": "GetVirtualVolumeCount",
  "params": {
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "count": 5
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

プロトコルエンドポイントのリスト

使用することができます `ListProtocolEndpoints` クラスター内のすべてのプロトコル エンドポイントに関する情報を取得するメソッド。プロトコル エンドポイントは、関連付けられている仮想ボリューム ストレージ コンテナへのアクセスを制御します。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
プロトコルエンドポイントID	情報を取得するプロトコル エンドポイント ID のリスト。 このパラメータを省略すると、メソッドはすべてのプロトコル エンドポイントに関する情報を返します。	protocolEndpointID UUID配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
プロトコルエンドポイント	システム内の各プロトコル エンドポイントに関する情報を含むオブジェクトのリスト。	プロトコルエンドポイント 配列

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "id": 1,
  "method": "ListProtocolEndpoints",
  "params": {}
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```

{
  "id": 1,
  "result": {
    "protocolEndpoints": [
      {
        "primaryProviderID": 1,
        "protocolEndpointID": "1387e257-d2e3-4446-be6d-39db71583e7b",
        "protocolEndpointState": "Active",
        "providerType": "Primary",
        "scsiNAADeviceID": "6f47acc2000000016970687200000000",
        "secondaryProviderID": 2
      },
      {
        "primaryProviderID": 2,
        "protocolEndpointID": "1f16ed86-3f31-4c76-b004-a1251187700b",
        "protocolEndpointState": "Active",
        "providerType": "Primary",
        "scsiNAADeviceID": "6f47acc2000000026970687200000000",
        "secondaryProviderID": 3
      },
      {
        "primaryProviderID": 4,
        "protocolEndpointID": "c6458dfe-9803-4350-bb4e-68a3feb7e830",
        "protocolEndpointState": "Active",
        "providerType": "Primary",
        "scsiNAADeviceID": "6f47acc2000000046970687200000000",
        "secondaryProviderID": 1
      },
      {
        "primaryProviderID": 3,
        "protocolEndpointID": "f3e7911d-0e86-4776-97db-7468c272213f",
        "protocolEndpointState": "Active",
        "providerType": "Primary",
        "scsiNAADeviceID": "6f47acc2000000036970687200000000",
        "secondaryProviderID": 4
      }
    ]
  }
}

```

バージョン以降の新機能

9.6

ストレージコンテナのリスト

使用することができます `ListStorageContainers` システムに認識されているすべての仮想ボリューム ストレージ コンテナに関する情報を取得する方法。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
ストレージコンテナID	情報を取得するストレージ コンテナ ID のリスト。このパラメータを省略すると、メソッドはシステム内のすべてのストレージ コンテナに関する情報を返します。	UUID配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
ストレージコンテナ	システム内のすべてのストレージ コンテナに関する情報を含むオブジェクトのリスト。	ストレージコンテナ 配列

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "ListStorageContainers",
  "params": {
    "storageContainerIDs": ["efda8307-b916-4424-979e-658a3f16894d"]
  },
  "id" : 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```

{
  "id": 6395,
  "result": {
    "storageContainers": [
      {
        "accountID": 64,
        "initiatorSecret": "EJ:08An1MyNQmL!7",
        "name": "VvolContainer",
        "protocolEndpointType": "SCSI",
        "status": "active",
        "storageContainerID": "efda8307-b916-4424-979e-658a3f16894d",
        "targetSecret": "g38}zWBK%206jQr~",
        "virtualVolumes": []
      }
    ]
  }
}

```

バージョン以降の新機能

9.6

仮想ボリュームバインディングのリスト

使用することができます `ListVirtualVolumeBindings` プロトコルエンドポイントにバインドされているクラスター内のすべての仮想ボリュームのリストを取得するメソッド。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
仮想ボリュームバインディングID	情報を取得する仮想ボリューム バインディング ID のリスト。このパラメータを省略すると、メソッドはすべての仮想ボリューム バインディングに関する情報を返します。	整数配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
バインディング	プロトコル エンドポイントにバインドされているクラスター内のすべての仮想ボリュームを記述するオブジェクトのリスト。	バインディング

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "ListVirtualVolumeBindings",
  "params": {
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "bindings": [
      {
        "protocolEndpointID": "5dd53da0-b9b7-43f9-9b7e-b41c2558e92b",
        "protocolEndpointInBandID":
"naa.6f47acc2000000016a67746700000000",
        "protocolEndpointType": "SCSI",
        "virtualVolumeBindingID": 177,
        "virtualVolumeHostID": "564de1a4-9a99-da0f-8b7c-3a41dfd64bf1",
        "virtualVolumeID": "269d3378-1ca6-4175-a18f-6d4839e5c746",
        "virtualVolumeSecondaryID": "0xe200000000a6"
      }
    ]
  }
}
```

仮想ボリュームホストの一覧

使用することができます `ListVirtualVolumeHosts` クラスターに認識されているすべての仮想ボリューム ホストのリストを取得するメソッド。仮想ボリューム ホストは、VASA API プロバイダーとのセッションを開始した VMware ESX ホストです。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
仮想ボリュームホストID	情報を取得する仮想ボリューム ホスト ID のリスト。このパラメータを省略すると、メソッドはすべての仮想ボリューム ホストに関する情報を返します。	virtualVolumeHostID UUID配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
ホスト	クラスター内の仮想ボリューム ホストを記述するオブジェクトの一覧。	ホスト 配列

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "ListVirtualVolumeHosts",
  "params": {
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "hosts": [
      {
        "bindings": [],
        "clusterID": "5ebdb4ad-9617-4647-adfd-c1013578483b",
        "hostAddress": "172.30.89.117",
        "initiatorNames": [
          "iqn.1998-01.com.vmware:zdc-dhcp-0-c-29-d6-4b-f1-1a0cd614",
          "iqn.1998-01.com.vmware:zdc-dhcp-0-c-29-d6-4b-f1-5bcf9254"
        ],
        "virtualVolumeHostID": "564de1a4-9a99-da0f-8b7c-3a41dfd64bf1",
        "visibleProtocolEndpointIDs": [
          "5dd53da0-b9b7-43f9-9b7e-b41c2558e92b"
        ]
      }
    ]
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

仮想ボリュームの一覧

使用することができます `ListVirtualVolumes` 現在システム内にある仮想ボリュームを一覧表示するメソッド。この方法を使用すると、すべての仮想ボリュームを一覧表示することも、サブセットのみを一覧表示することもできます。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
詳細	<p>応答の詳細レベル。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • true: 応答に各 VVol に関する詳細を含めます。 • false: 応答に各 VVol に関する標準レベルの詳細を含めます。 	ブーリアン	間違い	いいえ
limit	リストする仮想ボリュームの最大数。	integer	10000	いいえ
再帰的	<p>応答に各 VVol の子に関する情報を含めるかどうかを指定します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • true: 応答に各 VVol の子に関する情報を含めます。 • false: 応答に各 VVol の子に関する情報を含めません。 	ブーリアン	間違い	いいえ
開始仮想ボリュームID	応答内のリストを開始する仮想ボリュームの ID。	UUIDタイプ	なし	いいえ
仮想ボリュームID	情報を取得する仮想ボリューム ID のリスト。このパラメータを省略すると、メソッドはこれらの仮想ボリュームに関する情報のみを返します。	仮想ボリュームID UUID配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドには次の戻り値があります。

Name	説明	タイプ
次の仮想ボリュームID	リスト内の次の仮想ボリュームのID。	UUID
仮想ボリューム	現在システム内にある仮想ボリュームを記述するオブジェクトのリスト。	仮想ボリューム配列

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "ListVirtualVolumes",
  "params": {
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```

{
  "id": 1,
  "result": {
    "nextVirtualVolumeID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
    "virtualVolumes": [
      {
        "bindings": [
          177
        ],
        "children": [],
        "metadata": {
          "SFProfileId": "f4e5bade-15a2-4805-bf8e-52318c4ce443",
          "SFgenerationId": "0",
          "VMW_ContainerId": "abaab415-bedc-44cd-98b8-f37495884db0",
          "VMW_VVolName": "asdf",
          "VMW_VVolType": "Config",
          "VMW_VmID": "502e0676-e510-ccdd-394c-667f6867fcdf",
          "VMW_VvolProfile": "f4e5bade-15a2-4805-bf8e-52318c4ce443:0"
        },
        "parentVirtualVolumeID": "00000000-0000-0000-0000-000000000000",
        "snapshotID": 0,
        "snapshotInfo": null,
        "status": "done",
        "storageContainer": {
          "accountID": 1,
          "initiatorSecret": "B5)D1y10K)8IDN58",
          "name": "test",
          "protocolEndpointType": "SCSI",
          "status": "active",
          "storageContainerID": "abaab415-bedc-44cd-98b8-f37495884db0",
          "targetSecret": "qgae@{o{~8\"2U)U^"
        },
        "virtualVolumeID": "269d3378-1ca6-4175-a18f-6d4839e5c746",
        "virtualVolumeType": "config",
        "volumeID": 166,
        "volumeInfo": null
      }
    ]
  }
}

```

バージョン以降の新機能

9.6

仮想ボリュームタスクの一覧

使用することができます `ListVirtualVolumeTasks` システム内の仮想ボリューム タスクのリストを取得するメソッド。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
仮想ボリュームタスクID	情報を取得する仮想ボリューム タスク ID のリスト。このパラメータを省略すると、メソッドはすべての仮想ボリューム タスクに関する情報を返します。	UUID配列	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
tasks	クラスター内の仮想ボリューム タスクを記述するオブジェクトのリスト。	タスク配列

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "ListVirtualVolumeTasks",
  "params": {
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "tasks": [
      {
        "cancelled": false,
        "cloneVirtualVolumeID": "fafeb3a0-7dd9-4c9f-8a07-80e0bbf6f4d0",
        "operation": "clone",
        "parentMetadata": {
          "SFProfileId": "f4e5bade-15a2-4805-bf8e-52318c4ce443",
          "SFgenerationId": "0",
          "VMW_ContainerId": "abaab415-bedc-44cd-98b8-f37495884db0",
          "VMW_GosType": "windows7Server64Guest",
          "VMW_VVolName": "asdf.vmdk",
          "VMW_VVolNamespace": "/vmfs/volumes/vvol:abaab415bedc44cd-98b8f37495884db0/rfc4122.269d3378-1ca6-4175-a18f-6d4839e5c746",
          "VMW_VVolType": "Data",
          "VMW_VmID": "502e0676-e510-ccdd-394c-667f6867fcdcf",
          "VMW_VvolAllocationType": "4",
          "VMW_VvolProfile": "f4e5bade-15a2-4805-bf8e-52318c4ce443:0"
        },
        "parentTotalSize": 42949672960,
        "parentUsedSize": 0,
        "status": "success",
        "virtualVolumeHostID": "564de1a4-9a99-da0f-8b7c-3a41dfd64bf1",
        "virtualVolumeTaskID": "a1b72df7-66a6-489a-86e4-538d0dbe05bf",
        "virtualvolumeID": "fafeb3a0-7dd9-4c9f-8a07-80e0bbf6f4d0"
      }
    ]
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

ストレージコンテナの変更

使用することができます `ModifyStorageContainer` 既存の仮想ボリューム ストレージ コンテナに変更を加える方法。

パラメータ

このメソッドには次の入力パラメータがあります。

Name	説明	タイプ	デフォルト値	必須
ストレージコンテナID	変更する仮想ボリューム ストレージ コンテナの一意的 ID。	UUID	なし	はい
イニシエーターシークレット	イニシエーターの CHAP 認証用の新しいシークレット。	string	なし	いいえ
ターゲットシークレット	ターゲットの CHAP 認証用の新しいシークレット。	string	なし	いいえ

戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

Name	説明	タイプ
ストレージコンテナ	新しく作成されたストレージ コンテナに関する情報。	ストレージコンテナ

リクエスト例

このメソッドのリクエストは次の例のようになります。

```
{
  "method": "ModifyStorageContainer",
  "params": {
    "storageContainerID": "6c95e24f-9f0b-4793-affb-5a4bc6c3d7e1",
    "targetSecret": "O,IM;tOQdn9$JJ*8"
  },
  "id": 1
}
```

応答例

このメソッドは、次の例のような応答を返します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "storageContainer": {
      "accountID": 8,
      "initiatorSecret": "T$|5TO>2IY5sk4@k",
      "name": "doctest1",
      "protocolEndpointType": "SCSI",
      "status": "active",
      "storageContainerID": "6c95e24f-9f0b-4793-affb-5a4bc6c3d7e1",
      "targetSecret": "O,IM;tOQdn9$JJ*8"
    }
  }
}
```

バージョン以降の新機能

9.6

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。